

### 3 特別会計

特別会計の歳入歳出決算額は、次のとおりである。

なお、各会計の説明で、人件費についての記載は省略してある。

(単位 千円・比率 %)

区 分	令 和 6 年 度			令 和 5 年 度		
	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
電気事業経営 記念基金会計	281,006	280,638	368	232,099	232,000	99
土地区画整理 清算金会計	206	206	0	11,709	11,602	107
公共用地取得 事業会計	463,163	463,002	161	—	—	—
母子・父子・寡婦福祉 資金貸付金会計	678,285	336,189	342,096	628,330	304,605	323,725
公債管理事業会計	58,706,759	58,706,759	0	59,822,341	59,822,341	0
競輪事業会計	36,600,298	36,027,882	572,415	26,268,819	25,544,120	724,699
国民健康保険 事業会計	65,104,875	63,743,540	1,361,334	66,521,082	65,718,384	802,698
農業集落排水 事業会計	—	—	—	347,016	306,877	40,138
駐車場事業会計	139,372	112,854	26,517	156,855	132,731	24,123
介護保険事業会計	75,305,922	74,813,503	492,418	74,050,736	73,669,562	381,173
介護保険 サービス会計	114,116	112,968	1,147	101,532	101,033	499
中央卸売市場 事業会計	689,626	658,113	31,513	661,303	624,190	37,112
後期高齢者医療 事業会計	12,637,262	12,176,668	460,594	10,785,238	10,424,967	360,270
静岡市立静岡病院 事業債管理事業会計	982,332	982,332	0	982,438	982,438	0
計	251,703,228	248,414,661	3,288,567	240,569,503	237,874,855	2,694,648
前年度比較	11,133,725	10,539,806	593,919	2,437,041	3,698,459	△1,261,417
増 減 率	4.6	4.4	22.0	1.0	1.6	△31.9

※農業集落排水事業会計は、令和5年度末をもって地方公営企業会計に移行した。

## (1) 電気事業経営記念基金会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和6年度	280,717	281,006	281,006	100.1	100.0	—	—
令和5年度	232,100	232,099	232,099	99.9	100.0	—	—
比較増減	48,617	48,907	48,907	0.2	0.0	—	—
増減率	21.0	21.1	21.1	—	—	—	—

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和6年度	280,717	280,638	99.9	—	78	368
令和5年度	232,100	232,000	99.9	—	100	99
比較増減	48,617	48,638	0.0	—	△21	269
増減率	21.0	21.0	—	—	△21.4	270.7

(ア) 収入済額は、前年度に比べ4,890万円(21.1%)増加していた。これは主に、中部電力株式会社の株式配当金が増額となったことにより、財産運用収入が4,868万円増加したためである。

(イ) 支出済額は、前年度に比べ4,863万円(21.0%)増加していた。これは主に、財産運用収入の増加に伴い積立金が4,861万円増加したためである。

(ウ) 年度末における基金現在高は43億6,016万円で、その保有の内訳は有価証券22億7,067万円(中部電力株式会社株券4,541,346株)、現金20億8,949万円となっていた。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

区 分	令和6年度	令和5年度	比較増減
A 歳入決算額	281,006	232,099	48,907
B 歳出決算額	280,638	232,000	48,638
C 形式収支(A-B)	368	99	269
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支(C-D)	368	99	269

## (2) 土地区画整理清算金会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入		(単位 千円・比率 %)					
区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和6年度	207	3,051	206	99.8	6.8	99	2,745
令和5年度	11,666	14,586	11,709	100.4	80.3	—	2,877
比較増減	△11,459	△11,534	△11,502	△0.6	△73.5	99	△132
増 減 率	△98.2	△79.1	△98.2	—	—	—	△4.6

歳 出		(単位 千円・比率 %)				
区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和6年度	207	206	99.8	—	0	0
令和5年度	11,666	11,602	99.5	—	63	107
比較増減	△11,459	△11,395	0.3	—	△63	△107
増 減 率	△98.2	△98.2	—	—	△100.0	△100.0

(ア) 収入済額は、前年度に比べ1,150万円(98.2%)減少していた。これは主に、前年度は清算徴収金の残額を一括納付した徴収対象者がいたためである。

(イ) 不納欠損額は9万円で、前年度に比べ9万円増加していた。不納欠損額は全額延滞金である。

(ウ) 収入未済額は274万円で、前年度に比べ13万円(4.6%)減少していた。収入未済額は、清算徴収金253万円及び延滞金21万円である。

(エ) 支出済額は、前年度に比べ1,139万円(98.2%)減少していた。これは主に、一般会計繰出金の原資となる東静岡駅周辺土地区画整理事業の清算徴収金が減少したためである。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	比較増減
A 歳入決算額	206	11,709	△11,502
B 歳出決算額	206	11,602	△11,395
C 形式収支 (A-B)	0	107	△107
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	0	107	△107

### (3) 公共用地取得事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和6年度	710,000	463,163	463,163	65.2	100.0	—	—
令和5年度	—	—	—	—	—	—	—
比較増減	710,000	463,163	463,163	—	—	—	—
増 減 率	—	—	—	—	—	—	—

歳 出 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和6年度	710,000	463,002	65.2	168,561	78,436	161
令和5年度	—	—	—	—	—	—
比較増減	710,000	463,002	—	168,561	78,436	161
増 減 率	—	—	—	—	—	—

(ア) 収入済額は4億6,316万円で、予算現額に対する執行率は65.2%となっていた。これは主に、公共用地取得事業を翌年度に繰り越したことに伴い、公共用地先行取得等事業債の発行額が減少したためである。

(イ) 支出済額は、4億6,300万円で、予算現額に対する執行率は65.2%となっていた。これは、事業を翌年度に繰り越したことにより公共用地取得費が減少したためである。

(ウ) 翌年度繰越額1億6,856万円は全額繰越明許費で、公共用地取得費の丸子池田線(街路

用地取得費) 4,660 万円ほか 5 件である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	比較増減
A 歳入決算額	463,163	—	463,163
B 歳出決算額	463,002	—	463,002
C 形式収支 (A - B)	161	—	161
D 翌年度へ繰り越すべき財源	161	—	161
E 実質収支 (C - D)	0	—	—

#### (4) 母子・父子・寡婦福祉資金貸付金会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和 6 年度	590,536	1,210,059	678,285	114.9	56.1	13,789	517,984
令和 5 年度	593,814	1,170,006	628,330	105.8	53.7	988	540,686
比較増減	△3,278	40,053	49,955	9.1	2.4	12,801	△22,702
増 減 率	△0.6	3.4	8.0	—	—	—	△4.2

(単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和 6 年度	590,536	336,189	56.9	—	254,346	342,096
令和 5 年度	593,814	304,605	51.3	—	289,208	323,725
比較増減	△3,278	31,584	5.6	—	△34,862	18,370
増 減 率	△0.6	10.4	—	—	△12.1	5.7

(ア) 不納欠損額は 1,378 万円で、前年度に比べ 1,280 万円増加していた。不納欠損額の主なものは、貸付金元利収入 1,308 万円である。

(イ) 収入未済額は 5 億 1,798 万円で、前年度に比べ 2,270 万円 (4.2%) 減少していた。収入未済額の主なものは、貸付金元利収入 4 億 1,052 万円である。

(ウ) 支出済額は 3 億 3,618 万円で、予算現額に対する執行率は 56.9%となっていた。これは

主に、母子・父子・寡婦福祉資金貸付金で、資金の貸付けを執行する対象者数及び貸付金額が見込みを下回ったためである。

(エ) 支出済額は、前年度に比べ 3,158 万円 (10.4%) 増加していた。これは主に、母子・父子・寡婦福祉資金貸付金で、資金の貸付件数が増加したためである。

(オ) 不用額は 2 億 5,434 万円で、この主なものは、資金の貸付けを執行する対象者数及び貸付金額が見込みを下回ったことによる母子・父子・寡婦福祉資金貸付金 2 億 5,075 万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	比較増減
A 歳入決算額	678,285	628,330	49,955
B 歳出決算額	336,189	304,605	31,584
C 形式収支 (A - B)	342,096	323,725	18,370
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C - D)	342,096	323,725	18,370

## (5) 公債管理事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和 6 年度	58,815,000	58,706,759	58,706,759	99.8	100.0	—	—
令和 5 年度	59,853,000	59,822,341	59,822,341	99.9	100.0	—	—
比較増減	△1,038,000	△1,115,582	△1,115,582	△0.1	0.0	—	—
増 減 率	△1.7	△1.9	△1.9	—	—	—	—

歳 出 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和 6 年度	58,815,000	58,706,759	99.8	—	108,240	0
令和 5 年度	59,853,000	59,822,341	99.9	—	30,658	0
比較増減	△1,038,000	△1,115,582	△0.1	—	77,582	0
増 減 率	△1.7	△1.9	—	—	253.1	—

(ア) 収入済額は、前年度に比べ 11 億 1,558 万円 (1.9%) 減少していた。これは主に、縁故債に係る借換額が減少したことにより借換債が 9 億 4,540 万円減少したためである。

(イ) 支出済額は、前年度に比べ 11 億 1,558 万円 (1.9%) 減少していた。これは主に、満期一括償還の市債残高の増加に伴って市債管理基金に対する積立金が増加したことや、基金に属する有価証券残高の増加に伴い運用収入が増加したことにより市債管理基金費が 8 億 6,619 万円増加したものの、既往債の元金償還金が減少したことにより公債元金が 20 億 8,666 万円減少したためである。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	比較増減
A 歳入決算額	58,706,759	59,822,341	△1,115,582
B 歳出決算額	58,706,759	59,822,341	△1,115,582
C 形式収支 (A - B)	0	0	0
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C - D)	0	0	0

## (6) 競輪事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

歳 入							
区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和 6 年度	37,183,714	36,600,298	36,600,298	98.4	100.0	—	—
令和 5 年度	30,772,639	26,268,819	26,268,819	85.4	100.0	—	—
比較増減	6,411,075	10,331,479	10,331,479	13.0	0.0	—	—
増 減 率	20.8	39.3	39.3	—	—	—	—

歳 出		(単位 千円・比率 %)				
区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和6年度	37,183,714	36,027,882	96.9	—	1,155,831	572,415
令和5年度	30,772,639	25,544,120	83.0	—	5,228,518	724,699
比較増減	6,411,075	10,483,762	13.9	—	△4,072,687	△152,283
増 減 率	20.8	41.0	—	—	△77.9	△21.0

(ア) 収入済額は、前年度に比べ103億3,147万円(39.3%)増加していた。これは主に、特別競輪(K E I R I Nグランプリシリーズ)を開催したことにより、勝者投票券発売収入が91億8,029万円増加したことや、競走路改修工事等の実施に伴い、競輪場施設改善基金繰入金が11億6,500万円増加したためである。

(イ) 支出済額は、前年度に比べ104億8,376万円(41.0%)増加していた。これは主に、特別競輪(K E I R I Nグランプリシリーズ)を開催したことにより、開催費が86億3,963万円増加したことや、競走路改修工事等を実施したことにより、施設管理費が12億7,068万円増加したためである。

(ウ) 不用額は11億5,583万円で、前年度に比べ40億7,268万円(77.9%)減少していた。この主なものは、選手賞金・手当等が予測を下回った報償費や勝者投票券売上額が予測を下回ったことに連動して減少した委託料などの開催費9億533万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)			
区 分	令和6年度	令和5年度	比較増減
A 歳入決算額	36,600,298	26,268,819	10,331,479
B 歳出決算額	36,027,882	25,544,120	10,483,762
C 形式収支(A-B)	572,415	724,699	△152,283
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支(C-D)	572,415	724,699	△152,283

ウ 通常開催（特別競輪及び記念競輪を除く。）の状況は、次のとおりである。

（単位 千円・比率 %）

区 分	令和6年度	令和5年度	比較増減	増減率
開 催 回 数 (回)	6	13	△7	△53.8
開 催 日 数 (日)	27	51	△24	△47.1
入 場 者 数 (人)	40,415	89,865	△49,450	△55.0
1 開催当たり入場者数 (人)	8,083	8,169	△86	△1.1
勝 者 投 票 券 発 売 収 入	13,465,092	18,065,894	△4,600,801	△25.5
1 開催当たり勝者投票券発売収入	2,244,182	1,389,684	854,497	61.5
1 開催当たり収入額 (A)	2,254,435	1,397,150	857,284	61.4
1 開催当たり支出額 (B)	2,128,485	1,336,456	792,028	59.3
1 開催当たり収支差引額 (A)-(B)	125,949	60,694	65,255	107.5

（注）1 開催当たり入場者数は、通常開催に係る入場者数を無観客で開催した「ミッドナイト競輪」1回を除く開催回数（5回）で除した数値である。その他の1 開催当たりの数値は、通常開催に係る合計金額を開催回数（6回）で除した数値である。

（ア）通常開催について前年度と比較すると、1 開催当たり入場者は 86 人（1.1%）減少し、1 開催当たり勝者投票券発売収入は 8 億 5,449 万円（61.5%）、1 開催当たり収入額は 8 億 5,728 万円（61.4%）、1 開催当たり支出額は 7 億 9,202 万円（59.3%）、それぞれ増加していた。

（イ）この結果、通常開催の 1 開催当たり収支差引額は 1 億 2,594 万円の黒字となり、黒字額は前年度に比べ 6,525 万円（107.5%）増加していた。これは 1 開催当たり収入額、1 開催当たり支出額ともに前年度より増加したが、1 開催当たり収入額の増加の方が大きかったためである。

## (7) 国民健康保険事業会計

総括の決算概要は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

区 分	事業勘定		直営診療施設勘定		計	
	金額	前年度対比	金額	前年度対比	金額	前年度対比
歳入歳出予算額	66,811,265	98.7	114,949	102.9	66,926,214	98.7
歳入決算額	65,015,107	97.9	89,767	95.3	65,104,875	97.9
歳出決算額	63,653,773	97.0	89,767	95.3	63,743,540	97.0
歳入歳出差引額	1,361,334	169.6	0	13.7	1,361,334	169.6

### 事業勘定

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額	還付未済額
令和6年度	66,811,265	66,646,195	65,015,107	97.3	97.6	342,253	1,335,885	47,050
令和5年度	67,671,907	68,211,725	66,426,932	98.2	97.4	513,376	1,315,601	44,185
比較増減	△860,642	△1,565,530	△1,411,825	△0.9	0.2	△171,123	20,283	2,865
増減率	△1.3	△2.3	△2.1	—	—	△33.3	1.5	6.5

(注) 収入済額には、還付未済額を含む。

歳 出 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和6年度	66,811,265	63,653,773	95.3	—	3,157,491	1,361,334
令和5年度	67,671,907	65,624,235	97.0	—	2,047,671	802,697
比較増減	△860,642	△1,970,461	△1.7	—	1,109,819	558,636
増減率	△1.3	△3.0	—	—	54.2	69.6

(ア) 収入済額は、前年度に比べ14億1,182万円(2.1%)減少していた。これは主に、被保険者数が減少したことにより、県補助金が13億9,537万円減少したためである。

(イ) 不納欠損額は3億4,225万円で、前年度に比べ1億7,112万円(33.3%)減少していた。

不納欠損額の主なものは、一般被保険者国民健康保険料3億4,021万円である。

- (ウ) 収入未済額は13億3,588万円で、前年度に比べ2,028万円(1.5%)増加していた。収入未済額の主なものは、一般被保険者国民健康保険料13億1,438万円である。
- (エ) 支出済額は、前年度に比べ19億7,046万円(3.0%)減少していた。これは主に、被保険者数が減少したことにより一般被保険者療養給付費が12億8,936万円減少したためである。
- (オ) 不用額は31億5,749万円で、この主なものは、一般被保険者療養給付費21億2,578万円、予備費4億21万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	比較増減
A 歳入決算額	65,015,107	66,426,932	△1,411,825
B 歳出決算額	63,653,773	65,624,235	△1,970,461
C 形式収支(A-B)	1,361,334	802,697	558,636
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支(C-D)	1,361,334	802,697	558,636

## 直営診療施設勘定

ア 決算概要は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

歳 入							
区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和6年度	114,949	89,767	89,767	78.1	100.0	—	—
令和5年度	111,683	94,149	94,149	84.3	100.0	—	—
比較増減	3,266	△4,381	△4,381	△6.2	0.0	—	—
増 減 率	2.9	△4.7	△4.7	—	—	—	—

(単位 千円・比率 %)

歳 出						
区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和6年度	114,949	89,767	78.1	—	25,181	0
令和5年度	111,683	94,148	84.3	—	17,534	0
比較増減	3,266	△4,381	△6.2	—	7,647	0
増 減 率	2.9	△4.7	—	—	43.6	—

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	比較増減
A 歳入決算額	89,767	94,149	△4,381
B 歳出決算額	89,767	94,148	△4,381
C 形式収支 (A-B)	0	0	0
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	0	0	0

## (8) 駐車場事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和6年度	146,629	139,372	139,372	95.1	100.0	—	—
令和5年度	166,937	156,855	156,855	94.0	100.0	—	—
比較増減	△20,308	△17,482	△17,482	1.1	0.0	—	—
増 減 率	△12.2	△11.1	△11.1	—	—	—	—

歳 出 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和6年度	146,629	112,854	77.0	26,400	7,374	26,517
令和5年度	166,937	132,731	79.5	23,903	10,302	24,123
比較増減	△20,308	△19,876	△2.5	2,497	△2,928	2,393
増 減 率	△12.2	△15.0	—	10.4	△28.4	9.9

(ア) 収入済額は前年度に比べ1,748万円(11.1%)減少していた。これは主に、公債費が減少したことにより、一般会計繰入金が1,810万円減少したためである。

(イ) 支出済額は1億1,285万円で、予算現額に対する執行率は77.0%となっていた。これは主に、静岡駅北口地下駐車場の設備修繕業務を翌年度に繰り越したためである。

(ウ) 支出済額は、前年度に比べ1,987万円(15.0%)減少していた。これは主に、静岡駅北口地下駐車場建設工事費に係る既往債の一部償還が終了したことにより、公債費が1,833万

円減少したためである。

(エ) 翌年度繰越額 2,640 万円は全額繰越明許費で、業務費の静岡駅北口地下駐車場管理経費（駐車設備修繕業務）である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和 6 年度	令和 5 年度	比較増減
A 歳入決算額	139,372	156,855	△17,482
B 歳出決算額	112,854	132,731	△19,876
C 形式収支 (A - B)	26,517	24,123	2,393
D 翌年度へ繰り越すべき財源	26,400	23,903	2,497
E 実質収支 (C - D)	117	220	△103

## (9) 介護保険事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

(単位 千円・比率 %)

区 分	歳 入	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額	還付未済額
令和 6 年度	76,048,847	75,442,127	75,305,922	99.0	99.8	41,275	129,329	34,400	
令和 5 年度	73,924,456	74,219,228	74,050,736	100.2	99.8	45,312	153,580	30,401	
比較増減	2,124,391	1,222,899	1,255,186	△1.2	0.0	△4,036	△24,251	3,998	
増 減 率	2.9	1.6	1.7	—	—	△8.9	△15.8	13.2	

(注) 収入済額には、還付未済額を含む。

(単位 千円・比率 %)

区 分	歳 出	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和 6 年度	76,048,847	74,813,503	98.4	—	1,235,343	492,418	
令和 5 年度	73,924,456	73,669,562	99.7	—	254,893	381,173	
比較増減	2,124,391	1,143,940	△1.3	—	980,450	111,245	
増 減 率	2.9	1.6	—	—	384.7	29.2	

(ア) 収入済額は、前年度に比べ 12 億 5,518 万円 (1.7%) 増加していた。これは主に、前年度からの繰越金が 8 億 443 万円減少したものの、支払基金交付金が 10 億 900 万円、県負

担金が7億803万円、国庫負担金が3億127万円、基金繰入金が2億3,670万円増加したためである。

- a 繰越金が減少したのは、保険料剰余金が減少したためである。
- b 支払基金交付金、県負担金及び国庫負担金が増加したのは主に、認定者数の増加に伴い、交付対象経費が増加したためである。
- c 基金繰入金が増加したのは、第9期介護保険事業計画に基づき、保険料の抑制を図るために介護保険給付費等準備基金を取り崩したためである。

(イ) 不納欠損額は4,127万円で、前年度に比べ403万円(8.9%)減少していた。不納欠損額は全額介護保険料である。

(ウ) 収入未済額は1億2,932万円で、前年度に比べ2,425万円(15.8%)減少していた。

収入未済額の主なものは、介護保険料の1億457万円である。

(エ) 支出済額は、前年度に比べ11億4,394万円(1.6%)増加していた。これは主に、前年度まで介護保険事業会計から支出していた重層的支援体制整備事業(高齢者日常生活支援等推進費分)を一般会計から支出することとなったことにより包括的支援事業費が10億1,154万円減少したものの、介護サービスの支給件数の増加により介護サービス給付費が22億4,751万円増加したためである。

(オ) 不用額は12億3,534万円で、この主なものは、介護サービスの支給件数が見込みを下回ったことによる介護サービス給付費9億2,328万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	比較増減
A 歳入決算額	75,305,922	74,050,736	1,255,186
B 歳出決算額	74,813,503	73,669,562	1,143,940
C 形式収支(A-B)	492,418	381,173	111,245
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支(C-D)	492,418	381,173	111,245

## (10) 介護保険サービス会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和6年度	114,521	114,116	114,116	99.6	100.0	—	—
令和5年度	102,278	101,532	101,532	99.3	100.0	—	—
比較増減	12,243	12,583	12,583	0.3	0.0	—	—
増減率	12.0	12.4	12.4	—	—	—	—

区分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和6年度	114,521	112,968	98.6	—	1,552	1,147
令和5年度	102,278	101,033	98.8	—	1,244	499
比較増減	12,243	11,935	△0.2	—	308	648
増減率	12.0	11.8	—	—	24.7	129.7

(ア) 収入済額は、前年度に比べ1,258万円(12.4%)増加していた。これは主に、介護報酬改定により、指定管理料に含まれる介護職員処遇改善加算等に係る管理費用が増加したことや利用料収入が減少したことによる歳入不足額が増加したことにより、一般会計繰入金が増加したためである。

(イ) 支出済額は、前年度に比べ1,193万円(11.8%)増加していた。これは、介護報酬改定により、指定管理料に含まれる介護職員処遇改善加算等に係る管理費用が増加したことにより、在宅介護サービス事業費が増加したためである。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

区分	令和6年度	令和5年度	比較増減
A 歳入決算額	114,116	101,532	12,583
B 歳出決算額	112,968	101,033	11,935
C 形式収支(A-B)	1,147	499	648
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支(C-D)	1,147	499	648

## (11) 中央卸売市場事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調 定 額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和6年度	707,693	843,821	689,626	97.4	81.7	7,058	147,136
令和5年度	702,077	825,872	661,303	94.2	80.1	4,520	160,049
比較増減	5,616	17,948	28,323	3.2	1.6	2,538	△12,912
増 減 率	0.8	2.2	4.3	—	—	56.2	△8.1

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和6年度	707,693	658,113	93.0	—	49,579	31,513
令和5年度	702,077	624,190	88.9	10,890	66,996	37,112
比較増減	5,616	33,922	4.1	△10,890	△17,416	△5,599
像 現 率	0.8	5.4	—	△100.0	△26.0	△15.1

(ア) 不納欠損額は705万円で、前年度に比べ253万円(56.2%)増加していた。不納欠損額は、全額施設使用料である。

(イ) 収入未済額は1億4,713万円で、前年度に比べ1,291万円(8.1%)減少していた。収入未済額は、施設使用料8,773万円、電気・水道料等納付金5,939万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

区 分	令和6年度	令和5年度	比較増減
A 歳入決算額	689,626	661,303	28,323
B 歳出決算額	658,113	624,190	33,922
C 形式収支(A-B)	31,513	37,112	△5,599
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	10,890	△10,890
E 実質収支(C-D)	31,513	26,222	5,290

## (12) 後期高齢者医療事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額	還付未済額
令和6年度	12,685,254	12,739,133	12,637,262	99.6	99.2	16,783	112,687	27,599
令和5年度	10,780,736	10,862,115	10,785,238	100.0	99.3	17,752	83,867	24,742
比較増減	1,904,518	1,877,018	1,852,024	△0.4	△0.1	△969	28,820	2,856
増減率	17.7	17.3	17.2	—	—	△5.5	34.4	11.5

(注) 収入済額には、還付未済額を含む。

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不用額	歳入歳出差引額
令和6年度	12,685,254	12,176,668	96.0	—	508,585	460,594
令和5年度	10,780,736	10,424,967	96.7	—	355,768	360,270
比較増減	1,904,518	1,751,700	△0.7	—	152,817	100,323
増減率	17.7	16.8	—	—	43.0	27.8

(ア) 収入済額は、前年度に比べ18億5,202万円(17.2%)増加していた。これは主に、被保険者数の増加により、後期高齢者医療保険料が15億6,916万円増加したためである。

(イ) 不納欠損額は1,678万円で、前年度に比べ96万円(5.5%)減少していた。不納欠損額は全額後期高齢者医療保険料である。

(ウ) 収入未済額は1億1,268万円で、前年度に比べ2,882万円(34.4%)増加していた。収入未済額は全額後期高齢者医療保険料である。

(エ) 支出済額は、前年度に比べ17億5,170万円(16.8%)増加していた。これは主に、被保険者数の増加により、後期高齢者医療保険料が増加したことにより、後期高齢者医療広域連合納付金が17億4,397万円増加したためである。

(オ) 不用額は5億858万円で、この主なものは、後期高齢者医療広域連合納付金5億506万円である。

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	比較増減
A 歳入決算額	12,637,262	10,785,238	1,852,024
B 歳出決算額	12,176,668	10,424,967	1,751,700
C 形式収支 (A-B)	460,594	360,270	100,323
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	460,594	360,270	100,323

### (13) 静岡市立静岡病院事業債管理事業会計

ア 決算概要は、次のとおりである。

歳 入 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	執行率	収入率	不納欠損額	収入未済額
令和6年度	988,000	982,332	982,332	99.4	100.0	—	—
令和5年度	983,800	982,438	982,438	99.9	100.0	—	—
比較増減	4,200	△105	△105	△0.5	0.0	—	—
増 減 率	0.4	△0.0	△0.0	—	—	—	—

歳 出 (単位 千円・比率 %)

区 分	予算現額	支出済額	執行率	翌年度繰越額	不 用 額	歳入歳出差引額
令和6年度	988,000	982,332	99.4	—	5,667	0
令和5年度	983,800	982,438	99.9	—	1,361	0
比較増減	4,200	△105	△0.5	—	4,305	0
増 減 率	0.4	0.0	—	—	316.2	—

イ 決算収支の状況は、次のとおりである。

(単位 千円)

区 分	令和6年度	令和5年度	比較増減
A 歳入決算額	982,332	982,438	△105
B 歳出決算額	982,332	982,438	△105
C 形式収支 (A-B)	0	0	—
D 翌年度へ繰り越すべき財源	—	—	—
E 実質収支 (C-D)	0	0	—